

学科 学年	C 2	科目 分類	化学 Chemistry	講義と実験 必修	H19 前期 1履修単位	学習教育 目標 B	担当	浦崎 巖 URASAKI Iwao
概要	物質を処理し、化学現象を探究することによって、これらに関する基本的な事実、概念などを論理的、系統的に理解させ、化学の見方、考え方をかん養し、広く自然の諸現象を科学的に理解させるようにする。化学では、化学及び化学で学習した化学の理論的基礎につづき、主に有機化合物及び高分子化合物の性質について学習させるとともに、化学は、化学を基盤とした工学を学ぶために重要な基礎であって、化学工業などの進歩発展に深い関係を有していることを認識させる。実験もできるだけ多く実施し、科学の方法を身につけさせる。							
科目目標 (到達目標)	有機化合物に関する基本的な概念や法則を理解し、それらを日常生活と関連付けて考察できる。高分子化合物の性質や反応を理解し、身の回りの物質について科学的な見方ができる。							
教科書 器材等	化学、化学 検定教科書 数研出版、リード 化学 + 問題集 数研出版、資料及び練習問題プリント、ビデオ教材							
評価の基準と 方法	定期試験の平均成績を70%、平素の成績(小テスト、演習・宿題の実施状況、実験のレポート、授業への積極姿勢など)を30%として評価する。							
関連科目	化学、化学、生物							
授 業 計 画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回	×	有機化合物の分類と分析：有機化合物の特徴と分類、有機化合物の分析						
第2回		脂肪族炭化水素：飽和炭化水素、不飽和炭化水素						
第3回		アルコールと関連化合物：アルコールとエーテル、アルデヒドとケトン						
第4回		脂肪族カルボン酸と酸無水物						
第5回		エステルと油脂						
第6回		〔実験：アルコール・アルデヒド〕						
第7回		<前期中間試験>						
第8回		芳香族化合物：芳香族炭化水素						
第9回		フェノール類と芳香族アミン						
第10回		芳香族カルボン酸						
第11回		糖とアミノ酸：単糖と二糖、アミノ酸						
第12回		天然高分子化合物：高分子化合物、多糖、タンパク質、天然ゴム						
第13回		合成高分子化合物：合成繊維、合成樹脂、合成ゴム						
第14回		〔実験：サリチル酸のエステル、高分子化合物の合成〕						
第15回		<前期末試験>						
オフィスアワー	昼休み及び会議のない7時限以降はほとんど毎日質問に応じることができる。							
授業アンケート への対応	スピーカーを使用し、出来るだけ聞き取りやすい話し方をするとともに、板書についてもなるべく整理して読みやすく書くように心掛ける。							
備考	授業に関する質問は、 urasaki@numazu-ct.ac.jp への電子メールでも受け付ける。							
更新履歴	070316 更新							